

港区議会議員 自由民主党



# うかい雅彦通信

## 区政報告

発行:うかい雅彦事務所

〒108-0074

東京都港区高輪1-26-18-402

Tel&amp;Fax:03-3442-7232

E-mail:masahiko33@nifty.com

http://ukaimasahiko.com/

### ごあいさつ

区民の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。早いもので議席を頂戴しましてから、3年半が過ぎました。あっという間ではありましたが、大変中身の濃い時間であったと感じております。残る任期もあと僅かとなりましたが、港区から東京を元気にする気持ちで、全力を挙げて頑張っております。本年も宜しくお願い申し上げます。

港区議会議員 自民党議員団

副幹事長 うかい 雅彦



港区議会議員 自民党議員団

副幹事長 うかい 雅彦

### PROFILE

●昭和33年7月12日、港区高輪生まれ。  
港区立高輪台小学校、同高松中、私立成城高校、  
専修大学経済学部卒業（体育会ゴルフ部所属）、  
株式会社明治屋入社。  
家業を継ぐ為退社、二本榎通りで大榎屋酒店を家族  
で経営（平成17年まで）。  
港区立高松中学同窓会副会長。  
自民党政経塾第一期生。  
●家族：妻  
●趣味：ゴルフ、音楽鑑賞

## 港区立高輪保育園等の仮施設を、桂坂暫定保育室として継続使用が決定！



私は当施設建設のワークショップでご尽力下さった平野裕高輪共和会前会長に代表をお願いし、地域の町会長・自治会長の皆様に頂いた署名を添えた、高輪福祉会館等仮施設の保育施設としての継続使用の陳情書を、自民党議員団として武井港区長に提出しました。そして、来年5月より(仮称)桂坂暫定保育室としての継続使用が決定しました！

**これにより、250名の待機児童の解消が見込まれ、  
港区の保育事情が大幅に改善されます！**

### 平成22年第3回定例会一般質問

#### 1. 政府に対する緊急経済対策の意見書の提出について

現在の円高やデフレによる日本経済の厳しい状況の中で、実効性のある経済対策が早急に求められている。港区議会として、政府に対してデフレや円高に対するしっかりとした対応を含む、早急な経済対策を強く求め、政府に対し意見書を提出すべきであるが如何か。

議長答弁：各会派の皆さんと相談してまいります。

**全会派一致で、政府に対し実効性ある緊急経済対策  
(デフレ・円高を含む)を求める意見書を提出。**

#### 2. 港区商店連合会の支援について

港区商店連合会の60周年を記念して発足した若手のプロジェクトチームに対して、その新たな取組みについて、区としてどのような支援ができるか。

区長答弁：区は、プロジェクトチームによる新たな事業や取組みに対して、必要な情報の提供や補助制度の効果的な活用等により、実現に向け積極的に支援してまいります。

#### 3. 港南地区の行政サービスについて

人口の増加する港南地区の更なる行政サービスの充実について、地域の要望も増える中、どのような考えで取組まれるのか。

区長答弁：今後とも、地域の皆さんの声に耳を傾け、新たに整備する地域コミュニティ施設などを最大限活用し、行政サービスの提供に努めてまいります。

#### 4. 港区シルバー人材センターの仕事の確保について

様々な課題があるが、区としてしっかりとした指導を行っていくべきであると思うが如何か。

区長答弁：今後とも、シルバー人材センターに対して、事業運営の透明性、公平性がより一層図られるよう助言するとともに、効率的かつ効果的な運営がなされるよう外郭団体改革プランに続き、本年4月に定めた外郭団体改革の指導監督方針に基づき、引き続き適切に指導監

督してまいります。

**これからも、シルバー人材センターの仕事の確保のため頑張っております！**

#### 5. 区立中学生の防災訓練の参加について

高松中学をはじめ、いくつかの区内公立中学が防災訓練に参加している。地域を思う心を持ってもらうためにも、多数の中学の参加が理想であるが如何か。

教育長答弁：区立中学生の参加は、社会貢献の精神や自己肯定感を培える機会であるとともに、地域の一員である自覚を芽生えさせる貴重な体験である。今後も、地域と学校の連携のもと、生徒に積極的な参加を働きかけるよう学校を指導していく。

#### 6. 都市計画道路について

国の税収が上がらない中、その大半を国庫補助金に頼る道路計画の実行は難しいのではないかと。建物の耐震化や電線の地中化が進まない原因にもなっている。もし、進めるのであるならば、民間活力を使うよう誘導していくしか方法がないのではないかと。

#### 7. 田町駅東口北地区公共公益施設の先駆的な取組みの情報発信について

CO2を1990年度比45%削減という高い目標を持った新施設であり、日本中が注目を集める最新の省エネ・省工場の設備を導入するなど、先進的な取組みは高く評価できる。そのことについて、より強い情報発信を求めるが、区の考えは如何か。

区長答弁：国のリーディングプロジェクトと評価された本施設の先進性を十分に活かし、民間開発での低炭素化の取組みを誘導するよう本施設の削減効果を発信してまいります。

#### 8. 電気自動車の充電設備の普及について

エコカー補助金が終わった今、これからは国より補助金が出る電気自動車の普及が進むのではないかと。先駆的な取組みをしてきた港区として、民間の充電設備の普及と併せ、どのように取組んでいくのか。

区長答弁：CO2排出量を減らすことは重要な課題である。クリーンエネルギー自動車の普及啓発に努める。充電施設については、区独自の効果的な誘導策について積極的に検討してまいります。



## 平成21年度決算特別委員会質問内容

## 1. 総務費

- (1) 町会・自治会の皆さんの高齢化が進む中、地域のボランティア団体の協力を得ていくことが必要ではないと思うが如何か。

担当課長答弁: 学生と地域住民との交流の機会を充実するよう大学と町会・自治会等の橋渡しなど、相互の連携強化を支援してまいりたいと考えています。

- (2) 東海大学が「高輪共育プロジェクト」という、学生による地域貢献の組織を立ち上げてくれたが、区としてどのような連携をされるのか。

担当課長答弁: 東海大学は、これまでも地域行事への大学施設の提供や高輪地区の美化活動への学生の参加など、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。また、これまで以上に地域貢献活動や区との連携強化をしたいと伺っている。協働のパートナーとして連携を図り、絆を深めていきます。

- (3) 区内各地区での大学との連携については如何か。

担当課長答弁: 地域の実情に応じ、より一層大学との連携を深める取り組みを推進していくべきと考えております。

## 2. 環境清掃費

- (1) 集団回収の意義について

担当課長答弁: 環境問題に関する区民意識の向上に繋がる。また、ごみの分別や減量を進めることが、資源循環型社会づくりの一助となり、区民が協力し合うことが地域コミュニティの活性化に繋がる。

- (2) 町会・自治会の協力を得るための方策については如何か。

担当課長答弁: アンケート調査によれば、34%の参加で、更なる啓発が必要である。各総合支所と連携していく。

- (3) 集団回収において資源売却収入がない団体への取組みについては如何か。

担当課長答弁: 資源を売却している団体の実情を共有するなど、少しでも売却収入を得られるよう、情報提供を行っていく。

- (4) 低炭素化社会へ向けての区の先駆的な取組みについて、一般質問でも述べたが、積極的な周知活動がもっと必要ではないのか。

担当課長答弁: 設計内容を区民に説明する機会をとらえて取組みの検討内容とその予測される効果を周知していきたいと考えています。また、報道機関につきましても適宜情報提供を行ってまいります。

## 3. 民生費

- (1) シルバー人材センターの事務局の体制について区の方考え方は如何か。

担当課長答弁: 区は、今後も外郭団体指導監督方針に基づき具体的に指導していく。

- (2) シルバー人材センターの事務局が問題解決を図ることについては如何か。

担当課長答弁: 1400名を超える会員の中には、様々な考え方、意見をお持ちの方がいます。そのため、一方的に事務局の考え方を押し付けるのではなく、取り入れられる意見は取り入れるなど、会員の皆さんから信頼されるセンターの民主的運営に努める必要があると考えます。

- (3) 剪定作業など申込みの多い仕事について、講習などを行い、会員への仕事の配分を調整したらどうか。

担当課長答弁: 仕事の丁寧さや安価な料金など利用者の皆さんから好評なものもあり、需要も増加していることから、仕事のできる会員を増やすとともに、会員へ公正に仕事を配分するよう指導してまいります。

## 4. 産業経済費

- (1) 本定例会の一般質問で、港区商店連合会の若手会員によるプロジェクトチームについての支援を伺ったが、港区スマイル商品券に続く新たな施策が誕生するよう、色々な情報を提供しながら斬新なアイデアが出るようフォローをお願いしたいが如何か。

担当課長答弁: プロジェクトチームの活動には、産業振興課の若手職員が積極的に参画し、若者の視点で忌憚のない意見を交わしながら、事業が円滑に運営できるよう支援しています。今後も、必要な情報の提供や補助制度の効果的活用など、事業の実現に向けて支援していく。

- (2) 新しい技術を進める元気ある中小企業をバックアップするため、新たな企業間支援や補助金制度を創出することで、新事業への転換が図れると思うが如何か。

担当課長答弁: 「企業間連携交流会・分科会」事業や、「新製品・新技術開発支援」事業などの制度を活用することで、ご指摘のような新しい事業への転換を図っていただけるものと考えています。今後も事業の周知に努め、多くの中小企業が、企業間連携や産学連携によって、持てる力を十分に発揮し、新しい分野へチャレンジすることを支援してまいります。

- (3) 区として金融機関に対し、企業の設備投資に対する支援や貸し渋りの根絶に向け、円滑な融資の実行の働きかけをすべきと思うが如何か。

担当課長答弁: 企業が設備投資などに必要な資金を円滑に調達できることは、安定的な企業経営上で、きわめて重要です。区はこれまで、制度融資取扱い金融機関の連絡会等において、区内中小企業の資金繰りの円滑化について要請してまいりました。今後も、機会を捉えて要請してまいります。

## 5. 土木費

- (1) 高輪1丁目高輪レジデンス前の公共空地の活用について、そのオープンスペースの現状と面積については如何か。

担当課長答弁: 緑地・公開空地を合わせますと約1100㎡の面積が活用できる。

- (2) そこを広場として活用するにあたっての課題は何か。

担当課長答弁: 公道部分の道路使用は、交通管理者である警察への道路使用許可申請と区に対する道路占用許可申請が必要となる。公開空地については、管理責任者から都への一時占用の申請が必要となる。また、この広場を活用し、運営にあたる地域住民の確保と広場を利用する地域住民相互の意識共有が大きな課題である。

- (3) 広場としての活用に向けた総合支所としての取組みは如何か。

担当課長答弁: 区としては、地域の合意形成が得られるよう、ソフト、ハードの両面から広場への活用に向けて検討していきます。

- (4) 区は、大規模開発における事前協議段階から総合支所と連携し、地域対策貢献について、開発業者を指導するべきではないか。

担当課長答弁: 区は、各地区総合支所や関連部署との連携をさらに強化し、まちの安全・安心の確保及び地域コミュニティの活性化という観点から、地域貢献について、事前協議の段階から開発事業者を指導・誘導してまいります。

## 6. 教育費

- (1) 「子ども健康読本」を配布し、子どもたちに薬物について指導していると同っているが、教育委員会として他に何かされているのか。

指導室長答弁: 小・中学校の学習指導要領保健領域の中で、小学校5・6年生、全中学生に対して、薬物乱用防止についての理解と啓発を図っております。教育委員会では、毎年、区内小・中学校と高校の生活指導主任を集めて生活指導連絡会を開催し、専門家や医師等を招聘して講演会を聞いたり、警察関係者から実態を情報提供していただいたりするなど、指導する教員の問題意識の啓発に努めております。

- (2) 薬物乱用防止推進港区協議会の皆さんに、日頃の活動を学校でも行っていただくなど、教育委員会としての強いメッセージを発信して欲しいが如何か。

指導室長答弁: 今後も関係諸機関と連携を図りながら、薬物撲滅に向けた薬物乱用防止教育を充実させてまいります。

- (3) 学校の緑地等を、町会・自治会などの地域の皆さんに開放することについては、地域と学校のつながりを生むことになると思うが如何か。

担当課長答弁: お尋ねの学校緑地等が校庭として位置づけられる場合には、現行の条例上で使用承認の対象施設として利用が可能と考えております。今後とも、地域に支えられた区立学校として、学校施設等の地域開放について取組んでまいります。

## 編集後記

政権交代から一年が過ぎ、民主党政権に対して、大変な失望をされた方が多いのではないかと思います。しかしながら、失政により民主党の支持率が下落するにも関わらず、自民党の支持率はあまり伸びてはおりません。やはり、これまでの問題点をしっかりと受け止め、真摯に反省し、新たな決意で出直さなければならないと感じます。このことが、まだ国民の皆さんには伝わっていないのではないかと思います。そのためにも、まず私たち地方議員が、皆さんの声をしっかりと受け止め、区政に反映させることが肝心であると思っております。地域の皆さんから、自民党は生まれ変わったと感じて頂くためにも…頑張ります！

うかい雅彦のホームページが間もなくアップします！

<http://ukaimasahiko.com/>

代表質問及び決算特別委員会での質問の全文をご希望の方にお送り致します。FAX又はメールにてご連絡下さい。